

<応募フォーム>

<https://forms.office.com/r/yYMz3yRhg5>



【荒川下流河川事務所】令和 6 年度 SRSの実現に向けた河川 管理業務の高度化・効率化に資する技術情報提供依頼(RFI) 応 募フォーム

こちらは国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所が行う「令和 6 年度 SRSの実現に向けた河川管理業務の高度化・効率化に資する技術情報提供依頼(RFI)」の応募フォームです。

* 必須

1. 名称（企業・団体名等）*

技術提供に関するアイデア、技術・製品・サービス等を自ら有する企業、団体またはグループ名を記載してください。個人の場合は「個人」としてください。

回答を入力してください

2. 担当者所属部署

回答を入力してください

3. 担当者役職

回答を入力してください

4. 担当者名*

回答を入力してください

5. 担当者メールアドレス*

回答を入力してください

6. 担当者電話番号

回答を入力してください

7. 分野 *

対象の技術情報がどの分野に該当するか選択してください。（複数選択可）
※分野の詳細は「資料1 技術情報提供依頼書(RFI)」のP6~8に記載されています。

- ☐ 分野1：河川巡視
- ☐ 分野2：点検
- ☐ 分野3：除草(集草等処理を含む)

8. 提供依頼内容（分野1：河川巡視を選択した方へ）

対象となる提供依頼内容を選択してください。（複数選択可）
選択項目に該当しない技術である場合には、「その他」を選択し、技術について簡潔に記載してください。

- ☐ ①既存のCCTVによる画像や映像を活用した自動河川巡視技術
- ☐ ②ドローン等を自動航行や遠隔操作して現場に向かわずとも巡視作業が行える技術
- ☐ ③護岸や水際部などの危険箇所や不可視部分を確認できる技術
- ☐ ④不法投棄やホームレス住居などの違法・迷惑行為を効率的に発見・確認できる技術
- ☐ ⑤自動走行ロボット等を活用した自動河川巡視技術
- ☐ ⑥専門的な知識が無くても河川巡視を行うことができる技術
- ☐ その他

9. 提供依頼内容（分野2：点検を選択した方へ）

対象となる提供依頼内容を選択してください。（複数選択可）
選択項目に該当しない技術である場合には、「その他」を選択し、技術について簡潔に記載してください。

- ☐ ①小断面カルバートなどの目視が難しい狭窄部や水面下の状況を確認できる技術
- ☐ ②既存のCCTVによる画像や映像を活用した自動点検技術
- ☐ ③衛星画像などを用いて河道内樹木や土砂堆積等の河道内状況を把握する技術
- ☐ ④河床変動の把握やレーザー測量成果の補足など水中形状の把握する技術
- ☐ ⑤AR技術やAI画像解析などを用いて変状箇所の確認や評価が簡単に行える技術
- ☐ ⑥専門的な知識が無くても点検を行うことができる技術
- ☐ その他

10. 提供依頼内容（分野3：除草（集草等処理含む）を選択した方へ）

対象となる提供依頼内容を選択してください。（複数選択可）
選択項目に該当しない技術である場合には、「その他」を選択し、技術について簡潔に記載してください。

- ☐ ①ICT施工のように除草作業と出来形管理が同時・自動で行える技術
- ☐ ②除草機械を複数台操作することで安全性を確認しながらより効率化が図れる技術
- ☐ ③除草機械の自動巡行や現場に向かわずとも安全に遠隔操作が行える技術
- ☐ ④集草作業を効率化・自動化できる技術
- ☐ その他

11. 技術レベル *

提供技術の現在の状況について選択してください。（開発研究段階の場合は、製品化・サービス提供を目標としている年数を含む）

答えの選択



12. 技術タイトル *

提供技術情報の内容がわかるようなタイトルを簡潔に記載してください。（50文字程度）

【例】 〇〇km離れた場所から操作可能な超遠隔操作ドローン「〇〇〇〇」

回答を入力してください

13. 提案技術の概要 *

提案技術がどのようなものか記載してください。（提案技術により期待される効果や問題点など、既存技術との違い等）

また、提案技術がNETISやその他新技術等として登録されている場合、登録番号等を記載してください。

記載例は以下のURLより確認ください。

URL : https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000898183.pdf

パンフレットなどの資料がある場合には、＜追加資料提出先＞にアップロードしてください。

＜追加資料提出先＞

<https://pckk.ent.box.com/f/420e0bafa3d94a83aed5934aa8f11384>

※提出する資料のファイル名は、「省略した技術タイトル_会社名_日付_通し番号」を記載してください。（例：超遠隔ドローン〇〇_〇〇(株)_20241118_01）

※資料提出には、boxのファイルリンクエクスト機能を利用しています。boxを利用できない場合は、下記メールアドレスに資料を送付ください。

arakawakaryuu_dx（アットマーク）tk.pacific.co.jp

回答を入力してください

14. 現場実証参加の有無と希望時期 *

現場実証の参加可否を選択してください。（参加を希望する場合は時期も含む）

答えの選択



15. 現場実証を希望する詳細時期と理由

現場実証を行うにあたって希望する詳細時期と理由があれば記載してください。

【例】 河川区域内の状況を把握するため、植物が繁茂していない冬場(2月)を希望します。

時期は問いませんが、経過観察が必要であるため〇日以上を希望します。

悪天候下での効果を確認したいため、5月～6月を希望します。

回答を入力してください

16. 現場実証に必要な条件

現場実証を行うにあたって必要な基本条件を選択してください。（複数回答可）

- ☐ 堤防（天端）
- ☐ 堤防（法面）
- ☐ 高水敷
- ☐ 水面下（水中含む）
- ☐ 河川上空
- ☐ 構造物周辺
- ☐ 構造物内部

17. 現場実証可能箇所

荒川下流河川事務所管内で現場実証が可能と考えられる場所(距離標や地先名など)を記載してください。

※荒川下流河川事務所では、管内の情報を3Dマップで確認できる荒川デジタル河川管内図を公開しております。
河川の距離標や河川区域、占用区域等の確認もできますので、現場実証に適する場所を選定するのに活用ください。

占用区域である場合には占有者のルールに従うとともに、占有者との調整が必要となります。

<荒川デジタル河川管内図URL>
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage01048.html>

【例】 右岸〇〇k、〇〇水門周辺、〇〇区〇〇地先 など

18. 情報公開の可否 *

事務局以外への情報公開が可能であるか選択してください。

- ☐ 情報公開 可
- ☐ 情報公開 不可

19. 情報公開の可否理由（18.情報公開の可否で「不可」を選択された方へ）

事務局以外への情報公開が不可である場合は理由を可能な範囲で記載してください。

【例】 特許申請中のため、研究開発中のため など

回答を入力してください

20. 追加資料の提出について *

「13.提案技術の概要」に記載の追加資料の提出有無・方法について選択してください。

- ☐ 追加資料を提出する （＜追加資料提出先＞へアップロード）
- ☐ 追加資料を提出する （メールでの送付）
- ☐ 追加資料を提出しない

21. 1~20の入力内容をご確認ください *

1~20の内容を確認後、以下のチェックボタン、「送信」を押してください。
「送信」ボタンを押すと入力内容が送信されます。

※最終確認画面はございませんのでご注意ください。

- ☐ 確認しました

送信

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)